

令和7年度 第2回 蕨市立図書館協議会 会議録

- 開催日時** 令和8年3月29日(日) 午前10時から正午まで
- 開催場所** 蕨市立図書館 3階 会議室
- 議題**
- (1) 令和8年度事業計画及び予算について
 - (2) 令和7年度蔵書点検の結果について
 - (3) 蕨高校図書委員及び私立武南学園図書委員・図書部お薦め本コーナーの様様替えについて
 - (4) 行政資料の収集について
 - (5) 蕨市新図書館整備基本方針(案)に係るパブリック・コメントの実施結果について
 - (6) 蕨駅西口新図書館移転に係る検討状況について

出席者氏名 <出席委員>

町田 敏子会長、石田 俊介委員、椿 智絵委員、中村 和弘委員、高濱 直美委員、近江 睦代委員、荻原 由美子委員、杉本 孝一郎委員

<欠席委員>

蓮沼 昌代会長代理、岡本 和子委員

<事務局：図書館職員>

佐藤館長、藤橋管理係長、佐藤主査

会議経過

管理係長から開会し、佐藤館長あいさつ、町田会長あいさつ、資料確認の後、議題に入る。

(1) 令和8年度事業計画及び予算について

管理係長が議題1を説明し、質疑応答に入る。

委員：事業計画案に11月第3金曜日開催の「大人のためのお話会」が抜けているため、記載してほしい。

事務局：追記する。

委員：事業計画案が載っているのはよいが、種別、新しいもの、従来のものに分けたほうが見やすいのではないか。また、予算で需用費が前年度比で120万円減となっているのはどういうことか。

事務局：事業計画案の記載については検討する。需用費の減額については、光熱水費の減額によるところが大きく、これはボイラーをやめたことによるものである。

委員：委託料が大きく減ったのはなぜか。

事務局：今年度の9月に図書館システムの入替えが終わったためである。

委員：備品購入費の図書費が100万円下がったのはなぜか。

事務局：13節の電子書籍使用料を増額した分、代わりに図書費を下げたものである。

委員：紙の書籍を減らし、電子書籍を多くするというのは図書館の運営において大きなことなので、そこは始めの説明でしっかり話すようにしてもらいたい。また、雑誌が入れ替えられたのはなぜか。どのような事情なのか。

事務局：購入を取りやめたうちの1誌については、休刊となったため。残りの2誌は、利用実績が少ないため、その代わりに他市の所蔵状況などを勘案し、多くの利用が見込まれるのを入れたものである。

委員：子ども新聞の購入を始めた経緯について教えてもらいたい。

事務局：これまで子ども向けの新聞がなかったため、児童担当より申し出があり、購入を始めたものである。現在、児童エリアの窓側に排架している。

委員：子ども新聞が朝日新聞、毎日新聞ではなく読売新聞にしたのはなぜか。担当に言われたからというだけではなく、内容についても考慮してほしい。

委員：朝日新聞、毎日新聞は毎日発行されるため入れ替えが手間だと思うが、読売新聞はまとめた内容が週刊で発行されるからではないか。

事務局：予算の関係や装備の手間もあると思うが、今後は選定の際に内容についても吟味していく。

委員：電子書籍の使用料の仕組みについて教えてほしい。

事務局：「電子図書館サービス使用料」が基本料となり毎月支払うものであり、「電子書籍使用料」に2年間又は52回貸し出しのライセンス料、他にもるぶや児童書など読み放題パックの使用料の分が入っている。大体紙の書籍の価格の3倍ほどの使用料がかかるものである。その代わりに、いつでもどこでも読め、延滞なども発生せず、すぐに次の人に貸出することができるなどのメリットがある。

委員：電子書籍は現状どのような種類があり、今後はどのような分野を増やしていくのか資料があると分かりやすい。

事務局：承知した。

委員：新しい図書館で電子書籍を読む端末はあるのか。

事務局：フリーWi-Fiを設置して、利用者個人の端末で読んでもらう予定である。個人の検索履歴から検索事項がサジェスト（提案）されるなどの機能があるため、1台のパソコンを不特定多数の利用者が共有して使うのは馴染まないと考えている。

- (2) 令和7年度蔵書点検の結果について
管理係長が議題2を説明し、質疑応答に入る。
質疑応答なし。

- (3) 蕨高校図書委員及び私立武南学園図書委員・図書部お薦め本コーナーの模様替えについて

管理係長が議題3を説明し、質疑応答に入る。

委員：蕨高校が参加できなくなり、空いた部分に武南学園の中学生お薦め本が入ったことで、中学生、高校生がそれぞれ選ぶ本の対比ができて成長の過程が分かり面白い。入れ替えに来た中高生へ、展示本を読んだ利用者の感想などのフィードバックがあると子どもたちの励みになると思うので、来館者が感想を書けるノートを置いてほしいと思う。

事務局：担当から展示期間の貸出数の記録を渡しており、その際には、コーナーの反響なども伝えている。

委員：単に冊数だけでなく、感想も伝えてほしい。より交流が広まると思う。

委員：広報紙にもこういった取り組みを載せてはどうか。

事務局：入れ替えのタイミングで毎回秘書広報課には情報提供をしている。紙面の都合上などで難しい場合もあるようだが「まちの話題」などに載せてもらえるよう、今後も秘書広報課には伝えていく。

(4) 行政資料の収集について

管理係長が議題4を説明し、質疑応答に入る。

質疑応答なし。

(5) 蕨市新図書館整備基本方針（案）に係るパブリック・コメントの実施結果について 管理係長が議題5を説明し、質疑応答に入る。

委員：どのような要望が多かったか。

事務局：1つ目としては、かごやカートが欲しいという意見があった。新図書館ではワンフロアで奥行きもあるため、多くの本を持って移動するのは大変なので、数台程度設置することを検討している。2つ目として、座席予約をしてほしいとの意見に対しては、予約システム導入を検討している。3つ目として、蕨市立図書館で所蔵していない本のリクエストを電子化してほしいという意見に対しては、すでに実施済みで、ホームページ上から本のリクエストができるようにしている。4つ目として、返本棚を設けてほしいという意見に対しては、導入していく考えである。5つ目として、駐輪場、駐車場に関する意見に対しては、駅前という立地上、完全に無料にするのは難しいが、一定時間の無料化については協議していきたい。

反対に難しいものの意見の1つ目として、閉館時間を午後9時45分にしてもらいたいというものがあるが、閉館時間については際限がなくなってしまうため、まずは基本方針どおり午後9時まで様子を見させてもらい、今後の検討課題としていく。2つ目として、東口にも返却ポストを置いてほしいという意見については、JRとの折衝が難しいため、すぐに実施するというのは困難である。他に

はフリーWi-Fiの導入やベビーカーが利用しやすい環境にするなど、すでに基本方針に書いてあることに対する意見も多かった。最後に、現図書館をどのように活用するかという意見については、庁内の検討委員会で議論しているため、現状としては未定としている。

委員：電子リクエストができるようになったことは、大きく周知してほしい。また、ホームページからリクエストが認められたかどうか分からない上、いつごろ借りられるのかも分からない。購入するか、他の図書館から借りるかは担当が決めているのか。

事務局：購入するか、相互貸借するかは担当が決めている。選書基準については日々の業務となるため、パブリック・コメントでも選書に立ち合わせてほしいという意見もあったが、選書のために市民の方にその都度集まってもらうことは難しい。

委員：購入になるのか相互貸借になるのかについてだけでも教えてもらえたら、待つ期間について予測がつくと思う。

委員：新刊本は、出版月の翌月から2か月は相互貸借が行えないルールがあるため、その間は予約枠が一つ保留となり減ってしまうので、処理結果だけでも教えてもらえないのか。

事務局：蔵は毎週1冊1冊選書を行っているのでマンパワーが足りず、現状では難しい。

委員：予約をたくさんする者にとっては、予約枠が1つ減るのはきびしいので、相互貸借に回ったかどうかだけでも早く教えてほしい。直営でやるからこそ、より利用者の意見を取り入れ、密に連携を図ることができるのではないかと考えている。指定管理運営の場合、実績作りのためか、図書館側からのPRが大きく発信されることが多いように思われる。今後は直営であっても図書館からの利用者へのアプローチを考えてほしい。

事務局：蔵の図書館は1冊1冊目を通して買っているので、お薦めの本を新図書館では入ってすぐの総合カウンターの前のスペースを活用してプッシュしていきたい。

委員：リクエストの話に戻って、購入か、相互貸借処理なのか1週間程度で連絡してくれるという認識でよいのか。

事務局：担当に確認する。

(現状確認結果 購入するか相互貸借するか連絡は行っておらず、貸出準備ができた際に予約連絡を行っている)

委員：今後電子リクエストが可能になったことを大きくPRすることで、リクエスト数も増えることが考えられる。見計らいをやめて、お薦め本とリクエストの本だけ買うようにすればいいのではないか。また、パブリック・コメントの回答については、質問した人ごとではなく、同じような意見については種類別にまとめた上で、それに対する図書館の見解を記載した方が良いと感じた。

(6) 蕨駅西口新図書館移転に係る検討状況について

管理係長が議題6を説明し、質疑応答に入る。

委員：駅近くに図書館ができるということで、利用者としてビジネスパーソンが新たに増える。そういった方々に向けた施策はどうか。また、そういった方々の声を拾うことも大切で、知恵・知識の共有の場となるのではないか。その他、多文化共生について、人口の10%を占める外国人に対するサービスについても考えていかなければならない。

事務局：ビジネスパーソンに向けては、リスキリング、起業などの特集コーナーの設置など、他市の図書館を参考にしつつ、検討していく。多文化共生については、日本の方が外国の人に対する理解を深めるコーナーや日本に旅行に来た外国の方向け、日本に住民登録していて日本語を学ぶ方向けの計3種類のコーナーが必要だと考えている。

委員：学校にも多くの外国籍の方がいるのではないのでしょうか。

委員：私の中学校では現状30人ぐらいおり、年々増えているのを実感している。朝読書の時間などを利用して日本語の勉強をしている。

委員：日本国籍の子だけど日本語が苦手な子もいる。クラスの半分ぐらいは外国籍だったり日本語が苦手な子だったりする。図書館の本を有効活用させてもらっている。外国籍のご家庭の方にも学校として寄り添っていきたい。

委員：外国籍の方はこれからも増えていくと思っている。市としてどのように向き合っていくのか。それを基に図書館や学校は方針を決めていくべきものだと思う。

事務局：図書館を利用される外国の方は、長期滞在で日本語が堪能な方が多い。

委員：今現在外国の方はどのくらい利用されているか。

事務局：肌感覚で多い。10%どころか、児童向けの本は日本人よりも活用しているように感じることもある。

委員：市は、外国の方に対し、日本や蕨の文化を広めるオリエンテーションしていくことをうたっており、日本に溶け込んでいくような方針をとっている。ブックスタートやセカンドブックの事業に外国の方も子どもを連れて来ている。外国人の子どもやその親を対象にした読み聞かせなどを行うことで、外国の家庭の人たちにもアプローチしていくことができる。

事務局：令和8年度からブックスタート、セカンドブック一体となって図書館で事業を行うため、外国人に向けた事業も行っていきたい。

委員：以前、西川口に近い戸田市の中学校勤務の際、中国語原文の本を集めてはどうかという意見があった。ただ、価格が高く、学校の予算ではなかなか買えない状況だった。最近新しくなった川口市の横曽根図書館でも、住民は中国籍の方が多いように思うが、中国語原文の本は意外と書架に並んでいなかった。図書館としては日本語に馴染んでもらうことを第一義とし、原本本ばかりになるのは困るが、

外国籍の方達のため多少はあってもいいと思う。また、横曾根図書館は公民館併設の独立した建物で、デザイン性を重視しているのか館内の照明がダウンライトになっており、少々暗い印象を受けた。蕨の新図書館は「ほっとプレイス」をうたっているということで、明るい内装と照明の空間にしてほしい。

事務局：棚は明るい木目になり、全体的に白と薄い木目を基調とした感じになると聞いている。今後材質の実物を見せてもらうので、明るい感じにしていきたい。カフェエリアは多少おしゃれな感じにするが、子どもエリアは明るく、読書室は落ち着いた感じにするなど、ゾーンごとに考えていく。

委員：集会室についてはどのような管理を考えているか。貸し館は考えているか。

事務局：集会室はイベントや会議に使用するが、使っていないときは、入り口に近く、そばに自販機もあるため、飲み物を飲めるフリースペースにしていきたい。なお、貸し館としては考えていないが、期日前投票会場としての話は来ている。サードプレイスということで多少の会話はよいと考えており、奥の方のフロアとはメリハリをつける。

委員：蕨市の郷土資料のコーナーが一番奥になっているが、入り口付近にも展示する考えはあるか。

事務局：郷土資料を入り口付近に置くことはスペース的に難しいが、行政センターの方やエントランスロビーなど3階のどこかしらに蕨の玄関として蕨を紹介するコーナーを作った方がよいと考えている。

委員：長野ヒデ子先生の蕨市を紹介する絵本の再販をすることについて進めており、令和8年度の蕨市 SDGS 協働参画事業に応募することを予定している。読み聞かせを行っている団体などに声をかけ、会を立ち上げた。本が完成した際には、新図書館で展示を考えてほしい。

委員：郷土資料の電子化も歴史民俗資料館と連携して、検討していった方がよいのではないか。また、レファレンスについても強化してほしい。司書がいて、資料の場所を伝えるというだけではなく、どういったサービスができるのかということを確認にすることが大切だと思う。

委員：AIを活用すれば、このパブリック・コメントの資料も簡単にまとめられるのではないか。

委員：DX、AIの活用を進め、スタッフの教育やレベルアップにもつなげてほしい。

委員：蕨市立図書館跡地等活用方針検討委員会について、委員は市役所の職員のみである。ぜひ、地域住民や公民館利用者などを入れて、それぞれの意見を取り入れてほしい。

事務局：市民のニーズを集めて実現するのが職員の仕事であるので、皆さんの意見をなるべく取り入れていきたい。

委員：現図書館の耐震は大丈夫か。

事務局：平成30年度に耐震補強は完了している。だが雨漏りはある。蕨市全体の公共施設のマネジメント計画だとRC造（鉄筋コンクリート造）の建物は70年間使うことになっている。

委員：あと30年近くは使えるということが分かった。

委員：昨年12月議会の一般質問で、市長は「協議会の皆さんの意見も伺いながら」と発言しているが、今後も協議会の意見を取り入れてもらえるのか。

事務局：今後1年かけて壁の色など詳細も詰めていく。場合によっては資料を事前に送付することや臨時で協議会を開催することも考えている。

委員：今回のパブリック・コメントを含め、広く皆さんの意見を取り入れてすすめていっていただきたい。

【事務連絡】

管理係長から、①職員の異動について、②本日の協議会会議録の送付について、③本日の報酬について、④次期委員について、⑤次回開催日程についての5点を説明。

最後に近江委員から閉会あいさつ。